

大気中のアスベスト濃度調査について

今月中に調査結果を発表できるように、以下のとおり大気中のアスベスト濃度調査を実施しました。

1 調査理由

アスベストは天然に存在する鉱物で、土壌中にあってもそれ自体には毒性はありません。ただし、飛散することによって健康被害を引き起こす可能性があるため、空気中のアスベスト濃度を調査しました。

2 調査日、調査方法、調査結果

- ① 分析業者のスケジュールの関係で、12月16日(日)に実施しました。
- ② 地上1.5m～2mの高さで、10ℓ/分の流量で空気を4時間吸引し、フィルターで捕集したアスベストを2種類の光学顕微鏡で50視野を見て、繊維状物質を数え、その差をアスベストの繊維数として計測しました。

参考：アスベスト濃度の環境基準は定められていません。大気汚染防止法第18条の5で、アスベスト粉じんの排出基準は工場の敷地境界で10本/ℓとされており、これを判断基準として準用するのが一般的です。横浜市が鶴見区生麦で今年5月に測定した結果は、0.08本/ℓです。

3 調査地点

日曜日に4時間の調査を行うことから、以下の3地点で実施しました。

- ① 大森南四丁目9番 大田区土地開発公社所有地
- ② 蒲田一丁目4番23号 本蒲田老人いこいの家
- ③ 西糀谷二丁目14番13号 糀谷特別出張所

4 調査結果

調査結果は12月27日に判明しますが、12月19日時点での報告による速報値では3地点とも検出されません(検出限界未満)でした。